

平成23年9月30日

各 位

株式会社 三井住友銀行

株式会社日本アレフの「SMB C環境配慮評価私募債」を買受け

株式会社三井住友銀行（頭取：國部 毅）は、株式会社日本アレフ（代表取締役：堀之内 保）の発行する「SMB C環境配慮評価私募債」を買受け致しました。

三井住友銀行では、環境問題を重要な経営課題のひとつと認識し、地球環境保全と企業活動との調和に取り組んでおります。特に、地球環境の維持向上につながる商品の開発やソリューション提供は、金融機関として本業を通じて社会的責任を果たせる業務と考え、力を入れて取り組んでおります。

「SMB C環境配慮評価私募債」は、三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：木本 泰行）が作成した独自の評価基準に基づき企業の環境配慮状況を評価し、評価結果に応じた買受け条件の設定を行うとともに、環境経営における今後の改善余地を、簡易診断のかたちでご提供する私募債です。

今回対象となった、株式会社日本アレフに対する環境配慮状況の評価結果は、「環境保全対策の取組の状況」「環境マネジメントシステム」「環境ビジネスと環境コミュニケーション」などの面で高い水準であると判断され、企業経営において良好な環境取り組みを実施されているとの評価となりました。

特に、①環境ビジネスでは、有害物質を使用しない環境配慮型樹脂めっき前処理技術の開発や、省エネ等にも貢献する世界最小のリードスイッチの開発、海洋廃棄物を利用した新規技術の開発等、環境に配慮した製品の研究開発に積極的に取り組まれている点、②各工場にエネルギー管理の担当者を配置し、効果のあった取り組みを共有する社内環境コミュニケーション体制を構築されている点、③現場からの声に基づき、工場の屋根にスプリンクラーを設置する等、環境負荷削減のための様々な活動を全社で展開しておられる点等が高く評価されました。

三井住友銀行では、本業を通じ、環境配慮を進める企業の活動を支援して参ります。



仙台工場全景



会津工場全景



兵庫工場全景

以 上